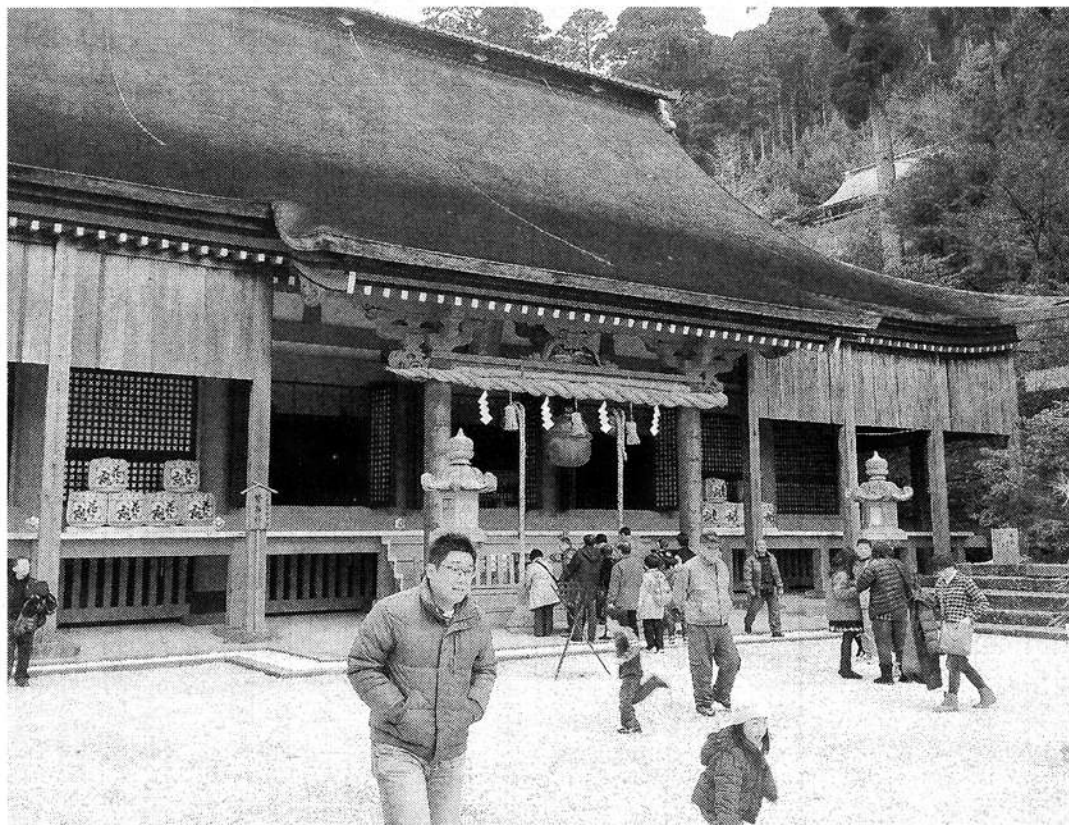


# あるこ!

## 九州自然歩道の旅⑧

福島 優



英彦山修験道の中心的建造物の奉幣殿。多くの参拝客でにぎわう

前回(2月20日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」で福岡県添田町の油木ダムから英彦山麓までの歩き旅でした。今月は英彦山山頂へ歩を進めます。

北坂本の棚田から民家の間を通る坂道を歩きます。途中周りの棚田を眺めつつ登ると道は木立の中へ。古道を思わせるような石段を登っていくと舗装路に出ます。英彦山の別所駐車場、

### 英彦山麓—英彦山頂



# 毎年登りたくなる眺望

近くには交番もあります。そこからまた古い真道を歩いていくと「英彦山神宮奉幣殿」へ続く参道につながります。参道は多くの参拝客や登山客でにぎわっています。奉幣殿は英彦

山修験道の中心的建造物で国指定重要文化財。休憩所には自動販売機や温かい食べ物を出してくれる売店があり、季節によって違いますが、今回私はせんざいを頂きました。

約5キロ、2時間半の旅でした。九州自然歩道は、英彦山から東と西に分かれます。東ルートは大分、宮崎を通り、鹿児島・霧島から九州自然歩道のもう一つの起点・終点、大隅半島・佐多岬へ。一方、西ルートは佐賀から長崎、熊本を通り、鹿児島・薩摩半島から佐多岬へ渡ります。

標高約5000級の奉幣殿から山頂の上宮(標高約12000級)まで登山道を登ります。ところどころのビューポイントで、今まで歩いてきた油木ダムなどを眺めることができます。また山頂までは2カ所に鎖場があり、鎖を使いながら登って行く楽しさも味わえます。

北九州市の皿倉山を出発し、英彦山まで約1000キロの道の中に、様々な自然や歴史、人との触れ合いがありました。他県ではどんな出会いが待っているのか。九州を身体で感じ、楽しみたいと思います。

1時間半ほどで中岳の山頂、英彦山神宮の上宮に到着。立派な社が立っていて、そこからの眺めは抜群です。社の裏から階段を下りると山頂を示す支柱と、東屋があります。ここからは東側の山々を眺めることができます。

来月からまず西へ、小石原へ歩いていきます。九州自然歩道フォーラム会員(福岡市) 毎月第3木曜掲載

